

NEWS RELEASE

2011年6月30日

株式会社リンクアンドコミュニケーション

株式会社ハー・ストーリィ

主婦の食生活におけるエコ活動の意識・実態調査

「節約」としてのエコから、「必要なものを大切にする」エコへ 震災で変わった食卓でのエコアクション

- エコを意識した最初のきっかけは、「節約」
- 調理をするときに意識しているのは、やはり「節電・省エネ」
- 震災を経て変わったことは、「資源や食材を大切にする」「本当に必要なものを考える」

※調査期間:2011年3月30日～4月30日 調査対象:20～50代女性(うち既婚者73.1%)119人 インターネット上で実施

「調理力で健康!プロジェクト」※1を運営する株式会社リンクアンドコミュニケーション(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:渡辺敏成、以下 リンクアンドコミュニケーション)は、株式会社ハー・ストーリィ(本社:広島市西区、代表取締役 日野 佳恵子、以下ハー・ストーリィ)協力のもと、ハー・ストーリィがインターネット上で運営する暮らしメディア「暮らしの根っこ」の会員主婦を対象に、食生活におけるエコアクション(エコ活動)に対する意識・実態調査を行いました。

※1「調理力で健康!プロジェクト」の概要 <http://chouriryoku.jp/>

リンクアンドコミュニケーションが、管理栄養士や料理研究家とともに推進しているプロジェクトです。家庭内でおいしく健康的な食事をつくる力を「調理力」と定義し、「健康の決め手として調理力をあげよう」とWebサイトを通じて提案しています。また調理力を測る調理力検定も数多く制作しています。なお調理力は、リンクアンドコミュニケーションの登録商標です。

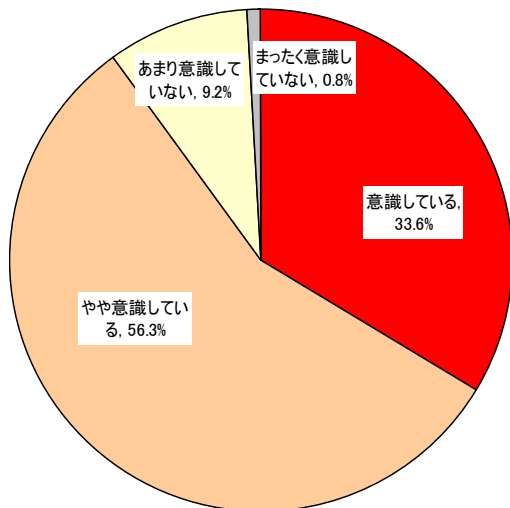
また2011年3月より、エコ・アクションポイントを運営する株式会社ジェーシービーと共同で、「エコ調理 Web サイト」(URL:<http://chouriryoku.eco-ap.jp/>)を運営、「エコ調理力」で、環境にもカラダにもやさしいおうちごはんづくりを提唱しています。

■調査結果サマリー

- ふだんの生活で、少しでもエコを意識している人が、約9割
- エコを意識した最初のきっかけが、「節約」だった人は約3割
- スーパーでの買い物で、マイバッグや袋を持参することは、もはや当たり前(89.1%)
レジ袋やゴミ袋の有料化に関しても、77.3%がポジティブな反応
- 調理のときに意識しているベスト3は、やはり節電・省エネ
 - 1位 ポットや炊飯器の保温は長時間しない(78.2%)
 - 2位 火力を適量に調節する(77.3%)
 - 3位 冷蔵庫を開けるときの、間を短くする(68.1%)
- 「食材を大切にする」「もったいないことをしない」という意識は、とても高い
残り物は保存して食べきる(84.9%) 料理を残さない(84.0%)
- リサイクルの意識もかなり徹底している様子
ゴミの分別(78.2%) 詰め替え用商品の利用(70.6%) トレイや牛乳パックの回収ボックス利用(64.7%)
- 震災を機会に、「節約」から、「資源や食材を大切にする」「本当に必要なものを見極める」に、主婦の意識は変化

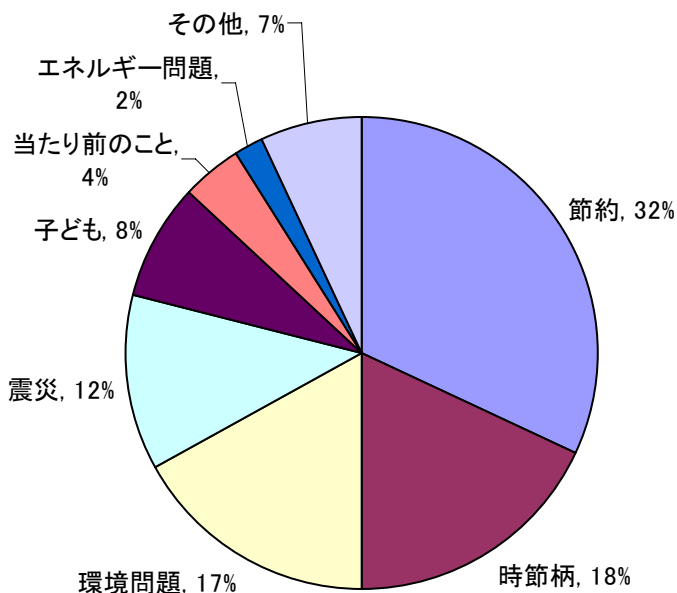
■ふだんの生活ですこしでもエコを意識している人は、約9割

ふだんの生活の中で、エコを意識している人は、33.6%、やや意識している人が、56.3%、両者あわせて計89.9%と、約9割の方が、なんらかのかたちでエコを意識している、という非常に高い数字が出ました。



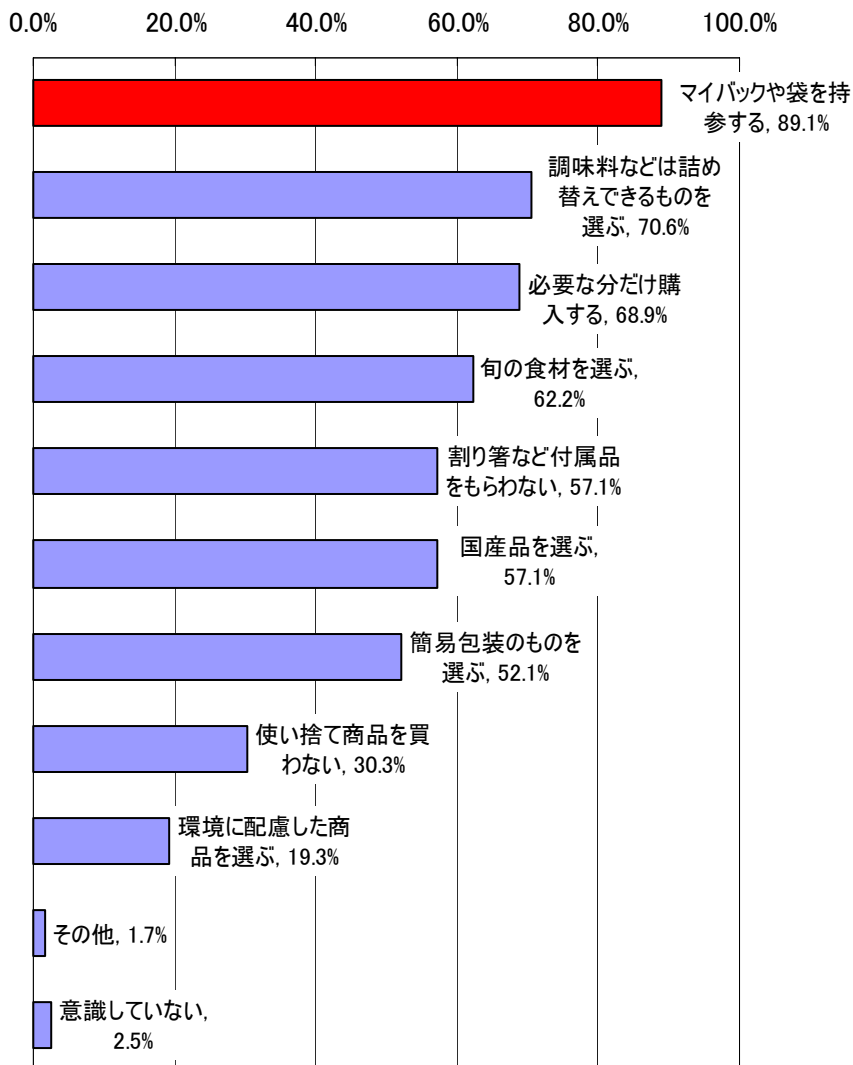
■エコを意識するようになった最初のきっかけは、「節約」の人が約3割

上記の少しでもエコを意識している人に、エコを意識した最初のきっかけを聞きました。まずは「節約」をきっかけに、エコを意識し始めた人が約3割(32%)でした。また「時節柄」「環境問題」など、世の中の動向をふまえて意識し始めた人も、あわせて約3割(35%)でした。また震災をきっかけとした人も、12%いました。



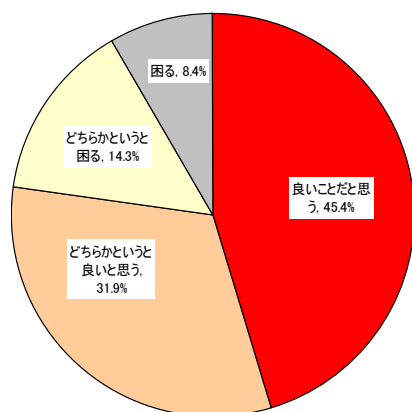
■スーパーで食品を購入する際に、約9割の人が「マイバッグや袋」を持参している

スーパーで食品を購入する際にマイバッグや袋を持参する人は、約9割(89.1%)と、もはや当たり前になってきています。



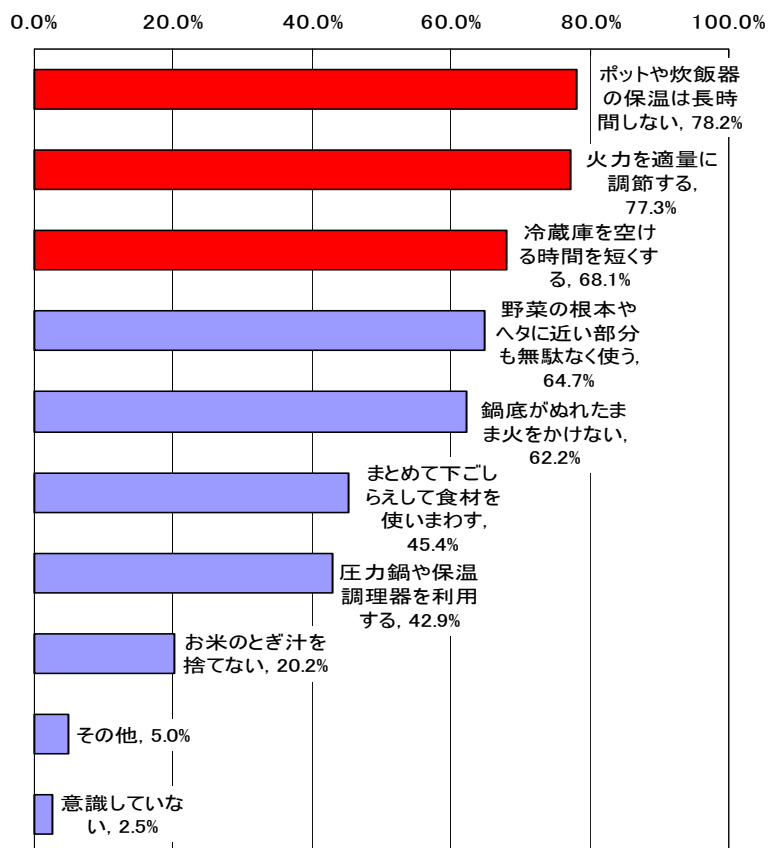
■スーパーやコンビニのレジ袋、ゴミの有料化についても、ポジティブな反応が約8割(77.3%)

レジ袋やゴミの有料化について、「良いことだと思う」「どちらかというと思う」で、77.3%がポジティブな反応でした。



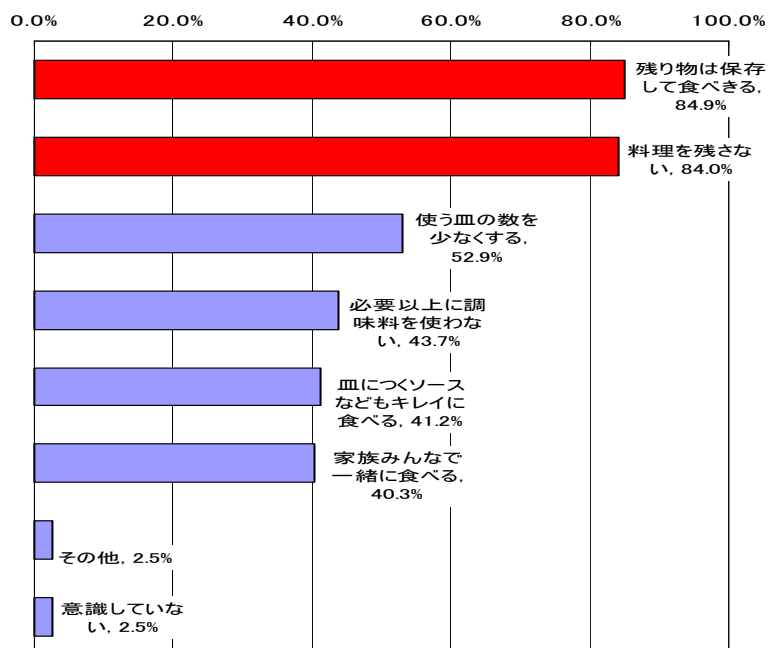
■調理の時に実施しているエコアクションのベスト3は、やはり節電・省エネに関係していること

調理のときに意識しているエコアクションは、1位「ポットや炊飯器の保温は長時間しない」78.2% 2位「火力を適量に調節する」77.3% 3位「冷蔵庫を開けるときの、間を短くする」68.1%と、節電・省エネに関係していることが多くみられました。



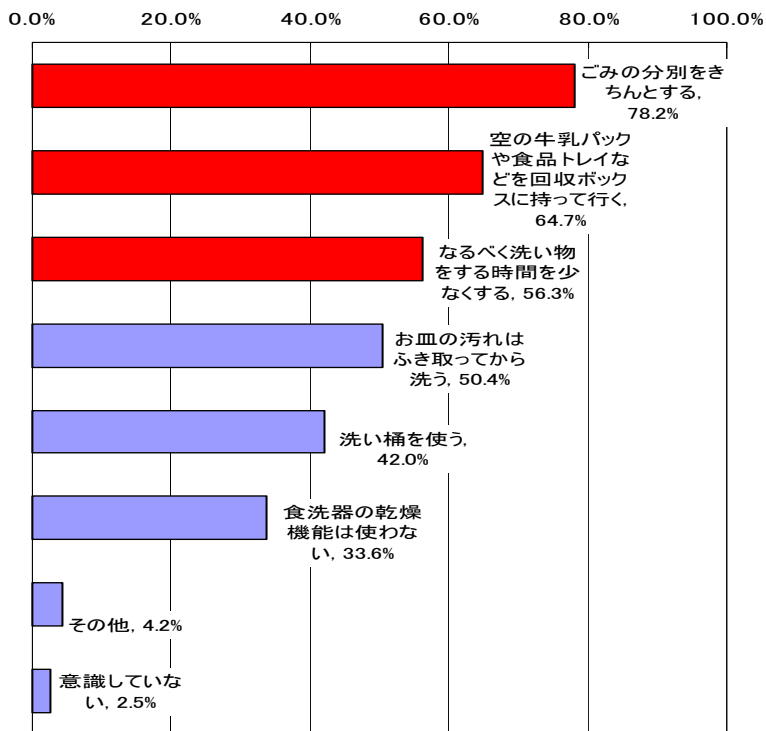
■「食材を大切に」「もったいないことをしない」という意識は、とても高い

食事を食べる時には、「残り物は保存して食べきる」が84.9%、「料理を残さない」が、84.0%



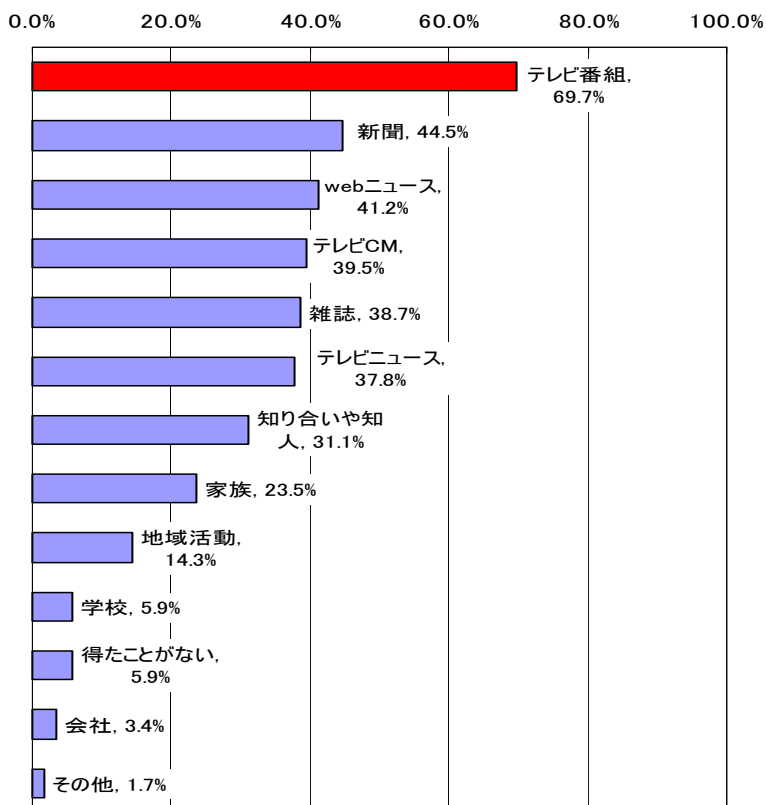
■リサイクルの意識もかなり徹底されている様子

「ゴミの分別」78.2%、「詰め替え用商品の利用」70.6%「トレイや牛乳パックの回収ボックス利用」64.7%と、リサイクルの意識は、かなり徹底されている様子です。



■エコについての情報源は、テレビ、新聞、webニュース

テレビ番組、新聞などの従来メディアに加えて、webニュースが情報源としての一角を担うようになってきています。



■東日本大震災で変わった「エコ」への意識、行動（自由記入の掲示板から抜粋）

東日本大震災を経て、「節約」としてのエコから、「資源や食材を大切にする」エコ、「本当に必要なものを見極める」エコへと、主婦の意識が変化しているように思われます。

- 以前から『節約』として新たに物を買うのを我慢したりしていたのですが、現在は本当に必要な物なのか考えるようになりました。(40代)
- 今まででは出来る範囲内でのエコ、利便性を犠牲にしない程度のエコを心がけていましたが、震災後は「なきゃないで何とかなるさ」の精神で家電製品に依存し過ぎない生活を心がけています。(40代)
- 今まで自分なりにエコを徹底していたつもりだったのですがリサイクルや節約をさらに強化するよう心掛けています。(30代)
- もともとエコを意識するようになっていたので、さらなるエコ…と頭を悩ませたこともあります。(30代)
私も震災後、エコへの関心が高くなりました。そのおかげか、以前から気になっていたグリーンカーテンに挑戦中です。(40代)
- 無駄に電気をつけなくなりました…というより、今回の事で、いかに無駄な電気をつけていたかがよく分かりました。普段の生活の中で、無駄を改善することがエコに繋がるんだと思います。(30代)
- エアコンの使用を控える、電気のスイッチをこまめに消すなどして、今まで以上に節電に心がけています。(50代)
- 電気や水など今まで以上に節約しています！(40代)
- 電力不足で今年の夏は厳しくなりそうなので、今まで以上にエコに積極的に取り組んで生きたいと思います。掃除機の使用も極力控え、ゴミが出たら履いたり拭いたりしています。保温ポットの使用を控え、ガスで沸かしたお湯を使います。長時間つけていたテレビをやめ、ラジオにしたら聞きながら色々出来るので良いとおもいます。(50代)
- 水の大切さが今まで以上に感じ、お風呂の残り湯は洗濯物だけに使用していたのですが、花壇の水遣りも残り湯を使うようにしています。水道をひねれば水がでるのが当たり前だと思っていましたが、本当にありがたいことなんだと思うようになりました。(30代)

●株式会社リンクアンドコミュニケーション

食と健康のサポート企業として、管理栄養士の独自のネットワークをもとに、医療機関、健康保険組合に対する食事指導の実施、及び食と健康に関するインターネットメディアの開発・運営を行っています。

社名：株式会社リンクアンドコミュニケーション

代表者：代表取締役社長 渡辺 敏成

所在地：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂3-2 神楽坂Kビル4F

URL：http://www.linkncom.co.jp

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社リンクアンドコミュニケーション 担当：メディア事業部 小俣利恵 TEL：03-3267-1511 E-MAIL：info@chouriyoku.jp

●株式会社ハー・ストーリー

日本では数少ない女性マーケティング会社。中でもさらに希少なF2層(35～49歳)に特化した事業を1990年から創業。全国10万人の女性モニターを持ち、タイムリーに情報を収集分析し、企業の課題を解決していきます。

社名：株式会社ハー・ストーリー

代表者：代表取締役 日野佳恵子

所在地：〒733-0834 広島市西区草津新町2-15-17

URL：http://www.herstory.co.jp/